

| | | |
|---------------------------------|--|----------------------------------|
| 適合規格 | ホルムアルデヒド放散等級 日本塗料工業会登録 T O 1 0 1 7 F☆☆☆☆ | |
| 系 統 | 1液・水性反応硬化形ポリウレタン樹脂塗料 | |
| 特 長 | 1) ウレタン架橋の緻密で強靱な結合エネルギーのため耐久性が優れています 2) 塗膜表面のコントロール技術により低汚染性を実現しています 3) 1液・水性であり塗装作業性が優れています 4) トアアクセス21との組合せにより工程を短縮できます | |
| 推奨用途 | コンクリート面・モルタル面・各種ボード面の新設および塗替え | |
| 荷 姿 | 15kg 石油缶 | 労働安全衛生法による表示の種別 SDSを参照下さい |
| 混 合 比 | _____ | |
| 可 使 時 間 | _____ | |
| 色 相 | 白および淡彩色 | |
| 乾燥時間(23℃) | 指触 1 時間 硬化 3 時間 | |
| 塗装間隔(23℃) | 下限 3 時間 上限 一 日 | |
| 標準塗付量 (kg/m ² /回) | エアレス 0.14~0.17 ローラー 0.14~0.17 | 有機溶剤中毒予防規則の種別 _____ |
| | 15kg当たり 約 48 m ² (2回塗り) | |
| 標準乾燥膜厚 | — μm/回 | |
| 塗 装 方 法 | エアレス, ローラー | |
| 希 釈 剤 | 上水 | |
| 希 釈 率 | エアレス 3 ~ 10 % ローラー 3 ~ 10 % は け 3 ~ 10 % | |
| 貯 蔵 安 定 性 | 6ヵ月 | 毒物および劇物取締法による表示 |
| 消防法による表示 | _____ | _____ |
| 塗 装 上 の 注 意 | 1. 気温5℃以下もしくは湿度85%以上での塗装は避けてください。 2. 下地が著しく粉化している場合は、パーメイトシーラーIIまたはセラシーラーMSを塗装してください。 3. 塗料缶に表示している安全衛生上の注意事項を確認の上ご使用ください。 | |
| 適合する主な上塗塗料 または下塗塗料 | 下塗塗料: トアアクセス21フィラー、セラシーラーW、パーメイトシーラーII 水性クリーントアボーセイ | |
| | 上塗塗料: _____ | |

組成表・試験成績表



| | |
|-------|------------|
| 商 品 名 | トアスイセイウレタン |
| 規 格 | 社内規格 |

| 組 成 (白) | 成 分 | | % (重量比) |
|------------|-----|---|---------|
| | | 着 色 顔 料 変性ウレタン樹脂エマルジョン 添 加 剤 水 | |
| | 合 計 | | 100.0 |

| 試 験 結 果 | 数値は参考値であり保証するものではありません。 | | |
|-------------|-------------------------|--|--|
| 試 験 項 目 | 試 験 成 績 | 規 格 | |
| 容器の中での状態 | 合 格 | かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。 | |
| 低温安定性 (-5℃) | 合 格 | 塊がなく組成物の分離・凝集がないこと。 | |
| 塗 装 作 業 性 | 合 格 | 2回塗りで、はけ塗り作業性に支障があってはならない。 | |
| 乾 燥 時 間 | 3 4 | 3時間以内(23℃) 4時間以内(5℃) | |
| 塗 膜 の 外 観 | 合 格 | 塗膜の外観が正常であるものとする。 | |
| 隠ぺい率(白及び淡彩) | 98 | 95%以上 | |
| 鏡 面 光 沢 度 | 72 | 70以上 | |
| 促 進 耐 候 性 | 合 格 | 1000時間の試験で、塗膜にひび割れ、はがれ及び膨れがなく、光沢保持率が80%以上、変色の程度がグレースケール3号以上であり、白垂化度の等級が1以下であること。 | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |